

認知症になっても、いつまでもあなたらしい暮らしを！

認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなったりしたためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態を指します。老化による物忘れより早いスピードで物忘れが進んだりするため、本人や周囲は戸惑いますが、認知症になっても「何もできなくなる」訳ではありません。周囲の理解や協力、様々なサービスなどの支援があればその人らしい暮らしを目指すことができます。一人で抱え込まずに不安なことがあれば相談してください。

■ 問い合わせ先 (オレンジマップ内)

● オレンジカフェ

① あそかカフェ	072-953-1511 / 当日：072-959-5503	伊賀 1-4-1
② オレンジカフェ峯屋	072-950-0157 (ぶどうの家)	軽里 1-1-1
③ おれんじかふえみやび	072-950-0382	西浦 2-1844-1

● 認知症地域支援推進員

① 介護老人保健施設 宙	072-939-0011	恵我之荘 3-1-3
② 西松庵	072-953-1511	高鷲 7-82
③ 介護老人保健施設 悠々亭	072-953-1002	樫山 100-1
④ みやび	072-950-0382	西浦 2-1844-1
⑤ みやびのもり	072-950-0383	西浦 3-3-23
⑥ ぶどうの家	072-950-0157	駒ヶ谷 404

- 介護者家族の会…羽曳野市社会福祉協議会 西部事務所 (072-953-8067) 市役所別館 (072-958-2315)
- 民生委員…羽曳野市保健福祉政策課 (072-947-3831)
- その他…羽曳野市地域包括支援課 (072-947-3822)

新しく地域包括支援センターが増えました！

新 西圏域 地域包括支援センター

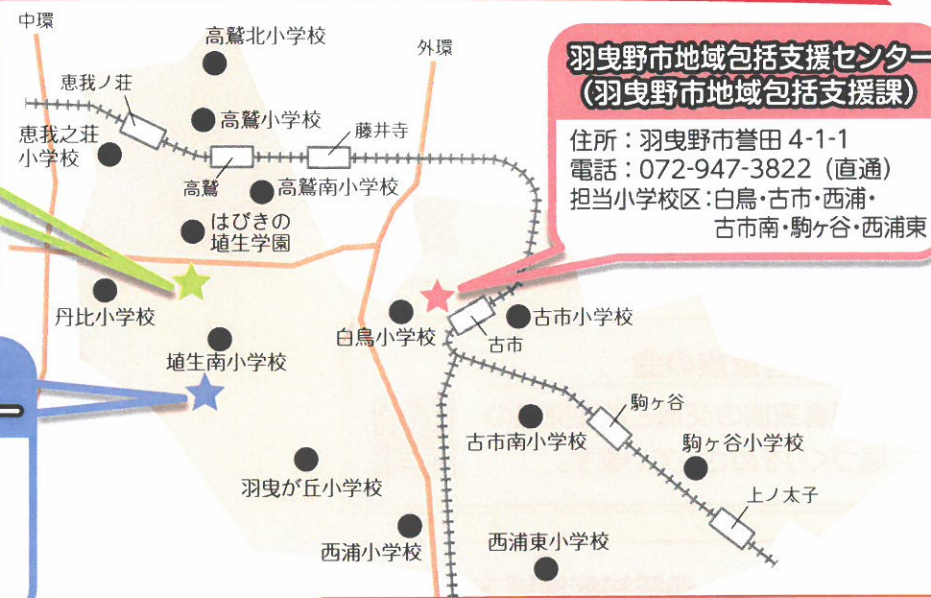
住所：羽曳野市樫山 100-1
 電話：072-953-1003
 担当小学校区：高鷲南・恵我之荘・丹比・高鷲・高鷲北

羽曳野市地域包括支援センター (羽曳野市地域包括支援課)

住所：羽曳野市誉田 4-1-1
 電話：072-947-3822 (直通)
 担当小学校区：白鳥・古市・西浦・古市南・駒ヶ谷・西浦東

新 中圏域 地域包括支援センター

住所：羽曳野市学園前 6-1-1
 電話：072-959-2006
 担当小学校区：羽曳が丘・埴生南・はびきの埴生学園



お近くの地域包括支援センターにご相談ください。



☎ 相談及び問い合わせ及び新聞発行元

羽曳野市地域包括支援センター (羽曳野市地域包括支援課)
 電話 072-947-3822 (直通 9:00~17:30) FAX 072-950-1030

オレンジ新聞

2023 9.1 VOL.9

発行

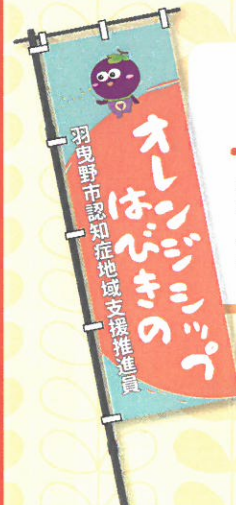
羽曳野市地域包括支援センター
 羽曳野市誉田4丁目1番1号
 ☎ 072-947-3822 (直通)

認知症地域支援推進員として、こんな活動しています！

9月21日 アルツハイマーデーイベント

認知症への理解を促進するために各種啓発イベント等を実施しています。

今年は認知症に関するDVDの上映会を開催します！



定期個別相談会

ご本人やご家族より、認知症に関する困り事や悩み事の相談を受け、必要があれば訪問も行っています。



高年生きがいサロンで実施中の「まちの保健室」で認知症関連の啓発講座・相談会を開催しています。

認知症チェックシート

いくつか思い当たることがあれば、かかりつけの医師や地域包括支援センター、お近くの認知症地域支援推進員に相談してみましょう。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 同じ事を何度も話したり、たずねたりする。 | <input type="checkbox"/> 以前はてきぱきできた家事や作業に手間取るようになった。 |
| <input type="checkbox"/> 出来事の前後関係がわからなくなった。 | <input type="checkbox"/> 計画を立てられなくなった。 |
| <input type="checkbox"/> 服装など身の回りに無頓着になった。 | <input type="checkbox"/> 複雑な話を理解できない。 |
| <input type="checkbox"/> 水道栓やドアを閉め忘れたり、後片付けがきちんとできなくなった。 | <input type="checkbox"/> 興味が薄れ、意欲がなくなり、趣味活動などを止めてしまった。 |
| <input type="checkbox"/> 同時に二つの作業を行うと、一つを忘れる。 | <input type="checkbox"/> 前よりも怒りっぽくなったり、疑い深くなった。 |
| <input type="checkbox"/> 薬を管理してきちんと内服することができなくなった。 | |

身近にこんなことはないですか

認知症と診断され、ご自宅で家族と一緒に生活しているAさん。

物忘れに関して、ご本人も不安な気持ちでいっぱいです。

身体は元気なので、ご近所のあちこちに出かけて迷ってしまうことも増えています。最近、会話の中でちょっとした事に怒りっぽくなり、周囲は戸惑っています。

本人の気持ち

誰かに話を聞いて欲しい
(孤独)

もの忘れが増えてきた
(不安)

認めたくない

何回も同じ事を
聞いてくるなあ

声をかけて
いいのかな…

どう関わって
いいのかわからない

家族の気持ち

地域の気持ち

何かしたいけど…
どうしたらいいかわからない

一人で
悩まないで

困ったときのオレンジマップ!

●かかりつけ医

自分の体をよく分かってくれていて、いつでも相談できるお医者さん。



●オレンジカフェ（認知症カフェ）

気軽に参加でき、穏やかな時間を共有できるカフェ。



●みまもりあいステッカー

外出して迷ってしまった時の早期発見のためのツール。



●認知症高齢者見守りネットワーク



●介護スタッフ

生活の身の回りのサポートや身体的な介護を行います。

●まちの保健室

高年生がいサロンにて専門職が相談会や講義を実施しています。(各館毎月1回実施)



●ケアマネジャー

自分らしく穏やかな暮らしが出来るように一緒に考えてくれる専門家。

各機関が協力してあなたを支えます ぜひご相談ください

●民生委員

相談支援や各種行事への参加など地域の福祉活動を行っている身近な存在。



●初期集中支援チーム

認知症の人や家族のもとへ訪問し、認知症についての困りごとなどの相談に対応する専門家チーム。



●介護者家族の会

介護者家族の交流と情報交換の場づくりをめざしています。



●認知症サポーター

認知症に対する正しい知識を持ち、地域で認知症の人や家族を温かく見守ります。



●認知症地域支援推進員

認知症になっても安心して生活できる地域づくりのお手伝いをします。



●チームオレンジ

オレンジサポーターが認知症の方の活動をサポートします。

